

【資料3】

学校適正配置のシミュレーション【木刈中学校区】(案)

項目	木刈小学校	小倉台小学校	木刈中学校
①所在地	印西市木刈2-6	印西市小倉台2-3	印西市木刈2-1
②開校年	昭和59年	平成3年	昭和59年
③普通教室保有数	総数26教室	総数44教室	総数32教室
④児童生徒数の推移	R4:542名→R10:342名 ※200名の減	R4:1,156名→R10:1,043名 ※113名の減	R4:791名→R10:896名 ※105名の増
⑤通常学級数の推移	R4:18学級→R10:13学級 ※5学級の減	R4:32学級→R10:33学級 ※1学級の増	R4:21学級→R10:26学級 ※5学級の増
⑥特別支援学級数の推移	R4:2学級→R10:2学級 ※増減なし	R4:6学級→R10:6学級 ※増減なし	R4:3学級→R10:3学級 ※増減なし
⑦学校規模の推移	R4:適正規模→R10:適正規模	R4:大規模→R10:大規模	R4:適正規模→R10:大規模
⑧通学区域 ※遠距離通学者は、 R4.5.1時点の在校生	・東西:約4.0km ・南北:約3.5km ・遠距離通学者:直線約2.2km 道路約6.6km ※スクールバス利用者のため、 道路はバスルートを基に算定	・東西:約1.1km ・南北:約2.1km ・遠距離通学者:直線約1.3km 道路約1.9km	・東西:約4.0km ・南北:約5.0km ・遠距離通学者:直線約2.4km 道路約3.7km
⑨スクールバスの運行	あり	なし	なし
⑩学区外就学の状況(出) ※各年5月1日現在 ※学区の児童生徒数は 4月1日現在	R4:8名/学区の児童数:555名 (割合:約1.4%) R3:6名、R2:6名 主な就学先:大森小	R4:75名/学区の児童数:1,246名 (割合:約6.0%) R3:63名、R2:55名 主な就学先:内野小	R4:12名/学区の生徒数:890名 (割合:約1.3%) R3:12名、R2:18名 主な就学先:原山中
⑪学区外就学の状況(入) ※R4.5.1現在	3名 主な指定校:小倉台小	0名	3名 主な指定校:原山中

<児童生徒数・学級数の推移>

学校名	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
木刈小学校	529	18	535	17	493	16	457	15	413	14	360	14	342	13
小倉台小学校	1,118	32	1,223	37	1,236	37	1,208	37	1,185	37	1,113	35	1,043	33
木刈中学校	773	21	880	25	910	25	920	26	906	27	908	26	896	26

※児童生徒数及び学級数は、通常学級で整理している。

＜木刈中学校区における学校適正配置シミュレーション（案）の考察＞

実施方策	学校適正配置の組み合わせ	学校規模	施設受入面	特記事項
①通学区域の見直し				・通学区域の見直しを行っても、小倉台小学校の大規模校を解消することは難しい。
②学校選択制の導入 (ブロック選択制)				・小倉台小学校が大規模校であるため、ブロック選択制の導入はできない。
③学校選択制の導入 (特認校制)				・小規模校がないため、小規模特認校制度の導入はできない。
④学校選択制の導入 (特定地域選択制)	小倉台小学校区から 木刈小学校区への 通学区域制度の弾力的な運用の導入			・小倉台小学校の児童数が数十人程度減少することが見込まれる。
⑤学校の統合	木刈小+小倉台小	大規模	木刈小：× 小倉台小：×	<ul style="list-style-type: none"> ・学校規模が大規模になってしまう。 ・学校の統合に対応できる学校施設の増築場所を各学校用地内で確保することが難しいため、学校の統合はできない。
⑥学校の統合	木刈小+小倉台小 +木刈中 ⇒新 義務教育学校 (施設一体型)	・前期課程 →大規模	木刈小：× 小倉台小：× 木刈中：×	
⑦学校の統合	木刈小+小倉台小 +木刈中 ⇒新 義務教育学校 (施設分離型)	・後期課程 →大規模		

※施設受入面：○…受入学校の教室総数 \geq 学校適正配置シミュレーション後のR10学級数+R10特別支援学級数

×…受入学校の教室総数 $<$ 学校適正配置シミュレーション後のR10学級数+R10特別支援学級数

【参考】児童生徒数・学級数の推移（学校の統合後）

学校名	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
新 義務教育学校（前期課程）	1,758	52	1,729	52	1,665	51	1,598	49	1,473	45	1,385	42
新 義務教育学校（後期課程）	880	25	910	25	920	26	906	27	908	26	896	26
新 義務教育学校（全体）	2,638	77	2,639	77	2,585	77	2,504	76	2,381	71	2,281	68

※児童生徒数及び学級数は、通常学級で整理している。

※R10 特別支援学級数：前期課程 6 学級・後期課程 3 学級